



四 気 折 々

川越町立川越中学校
学校だより第23号
令和4年10月3日

◆学校だより第23号では、「体育祭を全力で頑張った子どもたちの言葉」で体育祭をつなぎます。

◆学校だより第24号では、「学校関係者評価会議委員の皆さま」「教育委員会の皆さま」の言葉で体育祭をつなぎます。

【 体育祭の成果 】

- ① 練習段階から、誰もが仲間とともに一生懸命に取り組めた体育祭。誰もがみんなを全力で応援できた体育祭。
- ② 全校生徒のみなさんと先生たちと一緒に創り上げた体育祭。午前開催であっても、いっぱい充実感と達成感。これが、『新しい川中スタイルの体育祭』です。
- ③ 最初で最後の体育祭を仲間とともに全力を出し切り、全力で楽しんだ3年生。後輩たちは、そんな先輩の姿をしっかりと、記憶と心に刻むことができました。やっぱり、『川越中学校は先輩の姿から学べる学校です！』



3年ぶりに川越中学校で開催した体育祭。約2週間前はコロナ感染状況のピークとなり、学級閉鎖も余儀なくされた中での体育祭の練習期間。「体育祭を絶対に開催する思い」にすべての教職員が「まったくぶれることなく」、子どもたちと一緒に新しい体育祭を築いてきました。のべ人数260名もの保護者の皆さまにもいっぱいの応援をいただきました。子どもたちはその応援と声援を力に、一生懸命な頑張りをを見せてくれました。大きなケガや事故、

熱中症もなく体育祭が無事終了することができました。体育祭の振り返りコメントや感想を、担任の先生からの「学級通信」、学年主任の先生からの「学年通信」から何度も読んでみる。言葉を聴くだけで体育祭を開催して本当に良かったと思います。子どもたち、先生方、保護者のみなさんに感謝しかありません。

体育祭が終わった翌日。先週9月28日(水)の川越中学校には、1日中「体育祭の余韻(よいん)」に包まれて、どの生徒を見ても「体育祭で得た充実感・達成感・やりきった感」があふれていたように思います。これは先生たちも同じです。充実感の中に、川越中学校に『優しい空気』が流れていたように感じ取ることができました。きっと、『優しい空気』の中には、自分だけではなく、大切な仲間と、先輩と、後輩と、先生たちと一緒に新しい体育祭を創り上げたこと。仲間と一緒に全力で頑張ったこと。全力で応援したこと。それが、クラスの中に自分の居場所を再確認して、それが、とって温かく、温もりのある居心地の良さをみんなが体感していたのではないのでしょうか。川越中学校はこれからも、生徒と先生と一緒になって素敵な学校づくりをすすめていきます。



[各学年の子どもたちの言葉で「つなぐ」体育祭]

担任の先生、学年主任の先生が目的や意図を持ち、「学級通信」「学年通信」に毎日のように紹介される全校生徒の言葉や思い。体育祭に向けてみんなが記す言葉や思いは、9月当初は「自分のこと」が中心だった内容が、日に日に、「クラスの仲間に対しての思いや気づき」、「先輩や後輩の様子を見て参考になったこと」、「今のクラスに対して思うこと」など・・・どんどん内容に変容があり、みなさんの取り組みにも良い意味でのいっぱいの変化が表れてきました。



とにかくクラス全体や学年、学校がすごく盛り上がっていて、いろんなチームを応援し合っていて、すごく楽しい体育祭になりました。自分は練習の時からうまくいかなかった時に励ましの言葉を掛けていたけど、今日は色々な場面で色々な子が励ましの言葉を掛けていて、凄くパワーが貰えて頑張れました。だから、これからはうまくいかなかった時とかは周りをよく見て、励ましの言葉をいっぱい掛けていこうと思います。特に生徒会の子たちはいっぱい準備をしてくれたし、先生たちもみんなのことを考えて体育祭を行ってくれて感謝でいっぱいです。(3年2組学級通信 第36号より 女子生徒のコメントから)

みんなに感謝や。走れたのもみんなのおかげ。1組1位とって当たり前みたいな雰囲気でもプレッシャーもあったと思うけど、バトンミスで一気にみんなの目つきが変わったと思う。良い意味で、ナイスー！（3年1組学級通信 第161号より 男子生徒のコメントから）

初めての中学での体育祭をやってみて、とても楽しかったと感じました。どの学年も他のクラスや学年を応援している人がいて、みんなが真剣にしていたと思います。僕の出た玉入れは練習ではダントツで入った数が少なかったのに、本番では1位をとれて、思いもしていなかったのでもううれしかったです。4組は大縄4位、リレー2位で少し悔しかったけど、総合で準優勝できてうれしかったです。ほかの学年は特に3年生の姿がかっこよくて、来年そうなりたと思いました。（2年4組学級通信 9月28日 体育祭の振り返り号より 男子生徒のコメントから）



練習を頑張った成果は出ていると思いました。個人種目で1位をとれた種目もあり、嬉しかったです。優勝には届きませんでしたが、それぞれが一生懸命に取り組み、応援も盛り上がり、クラスの絆が深まったと思います。ただ、「行動面では3年生にはかなわないと思った」ので、来年、私たちが3年生になるころには今年の3年生のように素早く行動できるようにしたいです。（2年1組学級通信 9月30日 体育祭の振り返り号より 女子生徒のコメントから）



今日は体育祭がありました。みんな、今日のためにたくさん準備してきました。勝ち負け関係なく、協力できた体育祭だったと思います。みんなのために本気で競技に取り組めたのは初めてでした。本気で何かに取り組むことが、本当に楽しいことに気づきました。気づけたのは良い環境が作れている1-4のみんなのおかげです。1年生の体育祭は一生の内にたった1回しかありません。後悔のない体育祭にできたのが嬉しかったです。（1年4組学級通信 9月28日号より女子生徒のコメントから）



自分は楽しかったです。休みとか、競技に出れない人の事を考え、みんな一生懸命競技に出ている。補充するのが多かったけど、リレーもしっかりバトンがツなげてよかった。リレーは、みんな他のクラスよりバトンパスは上手かったと思います。絆があったと思います。今後、この絆を悪い方にかすのではなく、しっかりと注意できる仲にしていきたいです。みんなと、もっと何事も協力していきたいです。（1年5組学級通信 9月28日 第92号より 室長からのメッセージから）



全員リレーのとき、先輩のテントのところから誰かが応援してくれました。一体、誰が応援してくれたのでしょうか。でも、応援してもらえたおかげで、力がみなぎりました。（1年5組学級通信 9月28日 第92号より 女子生徒のコメントから）

みんなの言葉って、あったかいね。本当に体育祭を開催してよかった。川越中学校の強さをしっかりと見ることができました。体育祭の取り組みの中で、得たこと、課題…今後の学校生活にどうつなげ、どうかすかが大切！

【 保護者の皆さまへのお礼 】

保護者の皆さまに対しても、多くの制限をお願いする中、3年ぶりに川越中学校体育祭を実施することができました。保護者の皆さまには、あたたかい応援、拍手、声援をいただき、そして、子どもたちの背中をしっかりと押しいただきました。子どもたちは、普段の頑張り以上の頑張りを見せられました。体育祭を通じて、保護者の皆さまには、仲間とともに全力で取り組む子どもたちの様子を、間近で見ていただいたことを、本当に嬉しく思います。川越中学校の大事な大事な、そして自慢の子どもたちと、教職員と一緒に創り上げる新しい体育祭をいっぱい見ていただきました。全力で頑張る仲間や、先輩、後輩を全力で応援し、最後まであきらめずに走り切る仲間を一生懸命に励まし、全員で拍手するあたたかさ。これが川越中学校の強さです。コロナ禍において、観覧人数に制限をさせていただいたことによって、グラウンドのフェンス外側からも多くの保護者の皆様に、遠い場所からにもかかわらず全力で頑張る子どもたちへ声援と応援をいただいたことも絶対に忘れません。本当にありがとうございました。（校長）

